

事業所名	児童デイサービス 楽しいわが家
------	-----------------

公表日 R8年 4月 17日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を尊守したスペースを確保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか		○		日々ご利用のこどもの人数に対して職員の人数が足りない日がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか		○	視覚から季節感を感じてもらえるようにしています。	ご利用者が安全に通えるように室内の改善に努める。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか	○		清潔と感染症防止のために消毒を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動に応じて2部屋で対応している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		会議を定期的実施し、業務改善に努めている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け、業務改善につなげているか。	○		法令に沿って年1回、事業所評価を実施し、業務改善につなげている	保護者様へのアンケートの実施など意見をくみ取れるような体制作りをしていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		業務開始前後、月ミーティングにて意見交換、検討の場を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		ご利用者様、社内で評価を行っている	
	10	職員の資質の向上を行うために、研修を受講機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		法人内研修のほか、オンラインでも研修を行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○		支援プログラムの作成、公表を行政機関の指導に合わせて法令の基づき実施している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、支援に必要な項目と5領域を含めて、モニタリング、アセスメントから支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			各職員、保護者様との間で情報共有を行い、成長に合わせた支援計画を作成している
	14	放課後等デイサービス支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			支援計画書の内容を、職員間で共有して支援に活かしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか	○			アセスメント、支援計画の内容とこどもの成長を観察しながら確認し共有している
	16	放課後等デイサービス支援計画には、放課後等デイサービス支援ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・連携支援」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、支援に必要な項目と5領域、保護者様からの要望をくみ取りながら職員間で共有し、支援につなげている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			個別支援計画をもとに効果的に楽しみながら自主的に興味をもち達成感を感じる事ができるように環境を作ります
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの支援状況、保護者様からのご要望に合わせて、その都度支援方法を変えながら支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日、その日ご利用になるこどもは把握し支援の	

21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○	流れや注意点を確認しあっている。	
----	--	---	------------------	--

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、ご利用になることもごとに記録をつけて必要な事を見直し支援方法の検討をし、必要に応じて改善している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		アセスメントをもとに、定期的にモニタリングを行い各課題についての振り返りを支援計画の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		こどもの状況に合わせて、いくつかのパターンから適切な支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		本人が自己決定できるよう、意思の確認や話を聞くことでいくつかの選択肢を提示し支援を行っている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			児童発達支援管理責任者のほかに誰でも一緒に参加できるよう情報共有に努めている
	27	地域の保険、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			緊急時に備え、体制作りに努めている
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		学校の担任、コーディネーターの方と話し合い、学校での様子、デイでの様子など意見交換を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で、情報共有と相互理解に努めているか。		○		必要に応じて情報共有、訪問を検討する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			必要に応じて情報提供を行っている
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		今後、必要に応じて依頼を検討する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在は行っていない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			市内の会議に参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃の送迎時や連絡帳を通して様子を伝えている。場合により電話にてお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			送迎時や面談の際に支援方針を保護者様と確認し、ご理解、ご協力をしていただいている
保護者への説	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に、保護者様と書面の読み合わせを実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			常に相談の場を設け、こども本人の意思と保護者様の要望を考え、最善の支援ができるよう努めている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			説明の場を設け、同意を得た上での作成を心がけている
	39	家族等から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			送迎時や連絡帳にてやり取りをし、相談があるときは適宜対応できるよう努めている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		場を設けられるよう、検討していく

明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情受付担当を決め、苦情に対して適切に対応するよう努めている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ブログ、SNSにて活動内容やスケジュールをお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は、鍵のかかる場所に保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご利用の子どもに対して視覚(絵カードなど)、手話などを用いて意思疎通・情報をくみ取るようにしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		行えるよう計画を立てていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し、訓練を実施している。行った内容や様子を保護者様に伝えている	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			策定し、訓練を実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			契約時の確認と記録を執っている。都度、聞き取りや変更がないか確認している
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認している。必要に応じて、医師からの指示書を提示していただいている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			安全計画を策定し、研修、点検、計画の見直しを行っている
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全計画を策定し、研修、点検、計画の見直しを行い、都度保護者様へ周知している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告書を作成し、原因と対策について情報共有を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		月1回以上の会議、年1回以上の研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		マニュアルを作成し、契約時に保護者様へ説明している	